

ずいそう



私は10数年前に福岡県に転勤となり、現在は春日市に住まいしていますが、勤務地の筑紫野市や太宰府市周辺には歴史に残る数多くの名所・旧跡が存在します。

皆様方もそれぞれ懐かしい故郷や、転任地での出来事、休日に出かけた行楽地や名物料理等を何かについて、思い出されるのではないのでしょうか。

去年はNHKの大河ドラマの影響で、福岡の街は黒田官兵衛一色でした。ご承知の通り福岡の街は秀吉の命で、官兵衛が戦役で荒れ果てた地の区画整理を行い、現在の街造りの基礎を築きました。多くの方は福岡県と言えば博多、博多の祭りと言えば祇園山笠、夜の繁華街と言えば中洲、太宰府と言えば天満宮を連想されるのではと思われます。

私は各地区の旧所・名跡を見て回るのが好きでして、それぞれの地にそれぞれの歴史や風土が感じられ、長い歴史の営みを思い巡らすとき、何やら偉人の吐息を感じる気がします。

さて、振り出しに戻りますと、筑紫野市武蔵には創建年については、飛鳥時代とも奈良時代ともいわれ定かではないが、境内から発見された瓦や経塚から九州最古の仏蹟だそうです。境内には大きな藤の木が有り、樹齢700年余りと言われており、観音堂、地藏堂、大黒堂や五輪の塔、茶室、鐘桜、芭蕉の句碑などがあります。

また、この武蔵寺の左手、天拝山の登り口近くにある小さな滝は「紫籐の滝」と言い、道真公が天拝山に登拝するとき身を清めたと言われ、傍らにはその時身に付けていた衣を掛けたという衣掛石や正平二十年(1365年)銘の五輪の塔が立っています。滝壺の真砂は太宰府天満宮の神幸式大祭の折り神輿の若者が「お汐井取り」にやってきます。

伝説によると天拝山は、讒言(ざんげん)のため太宰府に流刑された学問の神様の菅原道真公が、自らの無実を訴えるべく幾度も登頂し、天を拝したと言うことで天拝山と呼ばれるようになったとのこと。天拝山の頂上までは大人の足で30分位の道のりで、わりとなだらかな斜面が続きますが、最後の道が急な斜面になっていて、困難な方のためにロープが設置されています。

今は山頂に神社が祭られています、山頂からは遥か彼方が見渡され、遠い都に向かって大声で無実を訴えたのでしょうか。

何かでストレスの溜まっておられる方は、是非一度試して見てはいかがでしょうか(スッキリ?)。ただ、山頂で何かを訴えている様な方は見かけず、皆さん神社に参拝して下山されているようです。

つぎに訪れる所は、都府楼跡の名前で親しまれている太宰府政庁跡は奈良・平安時代に九州を治め、我が国の西の守りとして防御や外交の窓口として重要な役割を果たしてきました。その跡地の東側に観世音寺が

歴史探訪

久保田 正 春



建てられていますが、これは天台宗の寺院で、本尊は聖観音、開基は天智天皇であり九州を代表する古寺で、奈良の東大寺、栃木の薬師寺と共に天下三戒壇の一つとされています。

その観世音寺境内に天平宝字5年(761年)に戒壇院が設置されています。これは西戒壇と称され、九州の僧侶たちの登壇受戒の道場として来たもので、国指定の重要文化財となっています。

当時庶民の生活は不安定であった事から、食い扶持に窮したら坊さんになるとの風潮により、数多くの人が坊さんになったそうです。ところが余りにも坊さんが増加し無秩序となったため、その対応策としてこの戒壇は、奈良時代に国家が正式に各宗派僧侶の「資格」を認める受戒の儀式のためと、戒律のために設けられたそうで、もはや修行の場所ではなく試験場となったとのことでした。

これらの話や戒壇院に置かれている資料を読むと、我が国で最初の「国家試験」の始まりではないかと自分勝手に解釈をしています。この戒壇院の入門の案内看板に「本堂内戒壇には天竺(インド)、唐(中国)、大和(奈良)の三国の土が納められている」と書かれています。

私は、この日本で最初と思われる国家試験の場へ、御利益を頂こうと時々お参りして、安全と繁栄を祈願しています。

また、観世音寺にはNHKの年末番組紅白歌合戦の後での「ゆく年くる年」に登場した鐘撞堂もあり、周辺には多くの樹木や、秋には広大なコスモス畑も登場して秋風をうけての散策が楽しめます。太宰府天満宮からは車で5分位の所で徒歩でも行けます、是非一度訪れて下さいお勧めです。

次に訪れるのは太宰府天満宮から車で30分位の原田宿にある筑紫神社です。原田宿は筑前・筑後・肥前と三つの国が接した国境の宿場町です。筑紫の名称は広義では九州全土を指すと言っています。私は少なくとも福岡県一圓の総本山神社では勝手に解釈し、毎年初詣の三社参りには一番最初に参拝しています。

また、この神社で行われる一番有名な行事は「粥^{かゆ}卜^う祭」で、読んで字のごとく御粥で占いをする祭りです。正月に奉納されたお米で御粥をたき、それを1ヶ月神殿の中におき、できたカビの具合で吉凶を占うというものです。市の無形文化財にも指定され、テレビのニュースにも登場します。

まだまだ私の住まいの周辺には数多くの旧所・名跡がありますが、勿論皆さん方の周辺にも数多くの歴史跡が残されていることでしょう、散歩がてらに尋ねてみては如何でしょう。私の一押しです、案外と楽しいかも知れませんよ。

——くばた まさはる キャタピラー九州(株) 執行役員 教習事業部長——